

「就任のご挨拶」

公益社団法人熊本県精神科協会 会長 相澤明憲

このたび宮川洗平先生のあとを引き継いで、熊本県精神科協会の会長を務めることになった相澤明憲です。熊精協会誌の紙面をかりて、就任のご挨拶をいたします。

前会長の宮川先生は、あかねの里の民営化、協会の公益法人化、精神科救急情報センターの発足など多くの重要な仕事を協会の先頭に立って成し遂げられました。宮川先生ばかりでなく、歴代の協会長の先生方は、どなたも見上げるような先輩方です。人格、識見いずれをとっても到底私などの及ぶところではありません。

私は、数年前から理事会の末席に座ってはおりましたが、もともと怠け者ですので、他の理事の方々に較べてたいした仕事を務めることもなく過ごしてきました。どなたかがちゃんとやって下さる、お任せするにこしたことはない、と惰眠をむさぼっていました。このたび協会長になれと言っていたいただいたのは、もっと協会のためしっかり仕事をせよ、と叱咤されたということに違いありません。

私には、将来を遠くまで見通す洞察力や広い範囲を見晴らす視野はありません。私のモットーは、目の前にあることを一つ一つ解決していけば先に進むことができるという、平凡なものです。したがって今後多くの皆さんにご協力いただかなければ、精神科協会の会長という重責を全うすることはできません。

これから理事会の先生方、協会員の先生方など多くの皆さんのお話によく耳を傾け、しっかりと話し合いを尽くし、お力を借りて、なすべき仕事を行っていこうと思っています。

ここで私の自己紹介をしておきます。

昭和29年、午年の生まれ、来年は還暦を迎えます。

熊本市の生まれで、幼稚園から大学までずっと地元です。

医学部を卒業し、精神神経科教室に入局しました。医局で教えを受けたのはわずか二年ですが、立津先生が私の師匠であると思っています。たくさんのお教養がありますが、「患者さんに学ぶ」という教養を、特に大切にしています。医局を出て転々としたのですが、平成元年からはずっと弓削病院で働いています。

落語が好きで、特に圓生と志ん朝がひいきです。どっちも故人ですから、もっぱらCDを聞いています。

五十代の後半からマラソンを始めました。一度走ってみようと思って始めましたが、走ってしまうと、走れなくなるのが無念のような気がしてやめられずにいます。これ

も一種の強迫症状でしょうか。

お酒もタバコもやりません。ギャンブルは苦手です。そこでストレスがたまると、本屋で本を買うようです。最近ではアマゾンの利用も多くなりました。読まない本が山積みになります。

そして神社好きです。神社めぐりをやっています。

今年平成25年は伊勢の神宮の式年ご遷宮の年に当たります。

伊勢の神宮は1300年以上前から、20年ごとに大変な費用と人手をかけて建て替えをくりかえしてきました。その意味するところの一つは常若とこわかです。20年ごとにお社を新しくし、神さまの力をよみがえらせるという考えです。そのために御社殿だけでなく鳥居、橋、奉納された御神宝まですべてが新しいものにかえられます。しかしご遷宮は、新しさのみを尊いとするものではありません。なぜなら、新しくされるものはすべて、昔から伝えられたその通りに作られるからです。檜の柱の削り方、茅葺の屋根のふき方、一つ一つが昔のままに行われます。そうやって昔の技術が現代まで伝えられてきました。新しいものと伝統的なものとの調和が、美しく荘厳な神宮を作り出しています。

漠然としていますが、これからの協会の運営の方向も、新しいものと伝統的なものを正しく調和させていくことが、必要なのだと考えています。

これから忙しくなるのですが、神社好きとして何としても神宮にお参りしなくてはなりません。そしてその時には、熊本県精神科協会の発展と熊本県の精神科医療の充実に努力することを神さまにお誓いしたいと思っています。

